

小学校 低 学年<1・2—(4)—2>

学 年	1年 2年	時 間	生活科 「ひなんリュックに なに 入れる？」	時 期	10月11月 or 適時	時 数	1時間(45分) 第2時/全3時間
本時目標	避難時に必要なものの理由を考え、話し合い活動を通して、グループごとにまとめることができる。						
資料・準備	プリント、非常持ち出し袋、ワークシート(班)、クレパス、ワークシート拡大図(発表用)、非常持ち出し品イラスト、絵を描く紙、のり						

展開<第2時>

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>1 避難リュックに何を入れるのか、考えてきたことを発表する。</p> <p>◇「ひなんりゅっくになにを入れる？」のプリントを見ながら、考えてきたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みず：のどがかわくからです。</li> <li>・らじお：ニュースがきけるようにです。</li> <li>・かんぱん：おなかがすくからです。</li> </ul>	<p>○前時に学習したことをもとに、宿題として前もって「避難時に必要なものの理由」を考えてきている。それを参考に発表するように促す。</p> <p>○前もってイラストを用意しておき、貼っていくようにする。</p>
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>ひなんりゅっくには、なにをいれたらよいだろう。</b></p> </div> <p>2 避難をする際に欠かせないものを班で話し合い、紙に絵をかいて、ワークシートに貼る。</p> <p>◇避難するとき、3日生き抜いて自分の命を守るために、これはなくてはならないというものを考えて、見つけましょう。班で話し合い、その理由も話しあっておきましょう。</p> <p>3 班ごとに発表する。</p> <p>◇○班から発表してください。そのとき、理由も一緒に発表してください。</p>	<p>○プリントを参考にしながら班ごとに話し合いをするが、「命を守る一番必要なものは何か考える」という視点を確認しながら、考えたり選んだりできるようにする。</p> <p>○拡大ワークシートを用意し、視覚的に捉えやすくする。</p> <p>○絵をかきやすいように別の紙を用意しておき、一人が必ず1枚は描くようにするとともに描いたものの説明ができるようにしておくよう促す。</p> <p>○絵を描くときに、イメージしにくい子には、黒板の絵を見ながら描くように促す。</p> <p>☆避難時に必要なものを考えることができる。【発表】</p> <p>○発表する際には一人が一つ必ず言うようにし、理由も加えて発表するように促す。</p> <p>○児童が考えた持ち出し品以外にも必要となるであろう物品について、実物を見せながら説明をする。</p>
ま と め	<p>4 本時の振り返りをし、感想を発表する。</p> <p>◇今日の学習で大切だと思ったことや感じたことを発表してください。</p>	<p>○災害はいつ起こるかわからないことから、各家庭で非常持ち出し品の備えをすることが必要なことを確認する。</p> <p>○次時は避難生活には何が必要になるか考えることを伝える。</p>

<単元のねらい>

話し合い活動を通して、避難時に必要なものは何かを考え、備えようとする。

<指導計画> (全3時間)

第1時 非常持ち出し品について知り、避難時に必要なものを考える。

第2時 避難時に必要なものの理由を考え、グループごとに話し合ったり、発表したりする。

第3時 避難生活に必要なものを考える。

関連する 教科・領域等	
協力団体	鳥取大学
題材・指導案等	平成23年度鳥取型防災教育モデル校(鳥取市立明德小学校)の24年度実践を参考